

4号機 炉心シュラウド上部リング内側のスカート溶接線付近で発見されたひび割れについて

平成 16 年 10 月 19 日

4号機 (平成 16 年 9 月 29 日から第 8 回定期点検中) においては、10 月 11 日から炉心シュラウド等の溶接線及びその付近の点検作業を開始しています。

(平成 16 年 10 月 12 日お知らせ済み)

本日 (10 月 19 日)、炉心シュラウド上部リング内側の 6 箇所ある縦溶接線 (V1) のうち、3 箇所について縦溶接線 (V1) 付近の目視点検 (1) を実施しました。この中で、スカート (2) 溶接線 (周方向溶接線) 付近にひび割れがあることを確認しました。

スカート溶接線については、今後、全周にわたり目視点検を実施した後、超音波探傷試験を実施します。

また、その他の溶接線についても、引き続き計画に基づき点検を行います。

今後の点検結果については、計画に基づく炉心シュラウドのすべての溶接線の点検結果がまとまった時点でお知らせします。

- 1 本点検は、電気事業法で定める定期事業者検査として実施しているもの
- 2 発生した蒸気を効率よく利用するため、上部リングとシュラウドヘッド (炉心シュラウドの蓋) の間に設けられた蒸気のシールの役割をするもの。

以上

浜岡 4号機 上部リング内側のスカート溶接部付近のひび割れの状況

